

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体					
区民の主体的な健康づくり推進事業		中保健センター					
事業目的	事業内容	活動指標	R1	R2	R3		
<p>中区地域計画における「健康を支える地域社会の構築」と「区民間交流の促進」をめざし、次のことに取り組む。</p> <p>○健康づくりに主体的に取り組む「健康づくり自主活動グループ」の活動支援により、区民の健康意識を高める。</p> <p>○子どもに対して好ましい生活習慣を啓発することで、子ども自身の健康意識を高めるとともに、保護者への波及効果もねらう。</p> <p>○健康づくりを自己管理できる機会を設ける。</p>	<p>○「健康づくり自主活動グループ」参加者に対し、保健センターと協力して事業の案内や健康情報発信を促し、実施する。</p> <p>○小学生対象に好ましい生活習慣獲得のための教室を実施するとしていたが、令和3年度については、コロナ感染拡大防止の観点から、子どもたちへ直接伝える教室等の機会を設けることは困難であるため、子どもたちや保護者と接触しない方法で啓発する。具体的には、学校生活を中心とした「生活リズムを整えよう」をテーマに媒体（下敷き）を作成し配付する。</p> <p>○身近な場所で高血圧の啓発と血圧測定の推進を行う。</p>	健康づくり自主活動グループへの健康教育開催と参加人数	①6,8,10,12月開催 ②延人数136人参加	①開催中止 郵送による情報提供を2回実施 ②20グループ×2回	①7月に開催 ②実人数16人 15グループに情報提供		
		「からだの探検隊」開催と参加人数	①7/29開催 ②50人 (うち保護者15人)	実施に至らず	実施に至らず 小学校4年生に生活リズムに関する下敷きを配布		
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	健康づくり自主活動グループの支援により、参加者の周囲の区民へ向けて健康情報の発信につながる。子どもたちに対して、将来、健康な体を維持するための必要な情報提供を行うことで生活習慣病予防につながっている。	○	健康づくり自主活動グループに対しては、周囲への情報発信力向上を見込んで、活動を支援。また、新規の方がグループに気軽に参加できるように教室運営時に協力をさせていただくなど協働実施できている。	○	保健センターの複数の専門職（保健師、栄養士、歯科衛生士）が協力してグループ支援や教室を実施することで、より内容の充実を図ることができている。	○	健康づくり自主活動グループ参加者を通じて、区民に広く健康情報が発信され、地域の健康度の向上が見込める。学校との連携を通し、生活リズムについての媒体を配付することで、対象学年に対し、統一した健康情報を提供することができた。
⑤自立発展性		総合評価					
○	身近な場所で血圧測定を実施することで、自己管理ができるように配慮。また、計測場所の目につく範囲に健康管理に関連する資料を配架することで正しい情報を得る機会を設ける。自主活動グループの活動場所とも関連するため、健康づくりの意欲向上を図ることもできた。	○	令和3年度は、小学生対象の「からだの探検隊」について、コロナ禍の感染状況が収まらなかったため実施に至らなかったが、小学4年生に対して生活リズムの周知ができる下敷きを全校区に配布した。交流会等で情報提供をする機会が以前より減少したが、健康チェックを気軽に行えるように工夫をしたことで、自主的に自己管理する機会を設けることができた。（年間の血圧測定利用者数：約1730人）				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
<p>拡充</p> <p>継続</p> <p>見直し</p>	<p>健康づくり自主活動グループの運営自体について、参加者が高齢化し、新たなグループの立ち上げは難しい状況となってきた。ただ、自主活動グループは、毎日もしくは毎週運動する機会をすべての区民に対して提供しているため、今後もグループ活動が継続して実施できるように支援をしていく。</p> <p>また血圧や体重測定など自身の健康管理をする習慣や、運動だけでなくがん検診や健診を受診することが身につくようアプローチが必要と考える。</p> <p>「からだの探検隊」に関しては教室としての形にこだわらず、児童がより興味を持って健康づくりに取り組めるような教材や、WEBなどを活用し知識の普及に努めていく。</p>						